

# 考えよう！ 守ろう！ 生物多様性

## 生物多様性とは

地球上では、さまざまな特徴を持った生き物が、山や川、海や街などの環境の中で豊かな生態系をつくっています。私たち人間を含むいろいろな動物や植物などが、ちょうど良いバランスで関わり合いながら暮らしていることを、生物多様性といえます。

## 生物多様性と 私たちの暮らし

きれいな空気やおいしい水、食べ物や衣服など、普段当たり前にあると思っている物の多くは、生物多様性が保たれていることで得られる自然の恵みです。私たちの暮らしは生物多様性によって支えられています。

自然が多く、約8千種の生き物が生息している札幌。今回の特集を通して、私たちの暮らしと生き物とのつながりを知り、一人一人にできることを考えてみませんか。

詳細  
環境共生担当課  
☎211-2879

## 生物多様性に影響を 与える外来生物

元々その地域にはいなかったのに、人間によって他の地域から持ち込まれてすんでいる生き物のことを外来生物といいます。札幌では457種の外来生物が確認されており、生態系に影響を及ぼすことが心配されています。

### 札幌にすむ外来生物の例

- ・アライグマ
- ・アズマヒキガエル
- ・ウチダザリガニ

### 例えば、牛乳ができるまで…



牛乳ができるまでには、さまざまな生き物や自然の恵みが関わっています。どれか一つでも失われると、牛乳ができなくなってしまう可能性も。地球上にいる全ての生き物がそれぞれ役割を持って生きていて、私たちの暮らしを支えています。

## 生物多様性の今

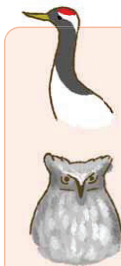
主に人間の活動が原因で、生物多様性は急速に失われつつあります。地球上では、1年間に約4万種の生き物が絶滅しているといわれています。これまでにない速さで絶滅が進んでいます。今ある札幌の自然と生き物を守るために、一人一人ができることを考え、取り組む必要があります。

## ヒグマやエゾシカも 生物多様性を支える一員

近年よく市街地に出没して問題になるヒグマやエゾシカも、元々札幌にすむ在来生物であり、生物多様性を支えています。それぞれが暮らす場所のすみ分けを行い、上手に共生することが大切です。

## 札幌からいなくなって しまった生き物も

タンチョウやシマフクロウなどの生き物は、今はもう市内では見られなくなってしまいました。また、121種の生き物が市の絶滅危惧種に選定されています。これ以上生き物が減ってしまわないように、生き物がすむ環境を守っていく必要があります。



## 野生の動物に 餌を与えないようにしましょう

野生の動物は人間に餌を与えられることで、自分で餌を手に入れる力が弱まってしまう可能性があります。また、十分過ぎる量の餌があると、繁殖力が高まり生態系のバランスが崩れてしまう恐れも。野生の動物を見かけても、そっと見守ることが大切です。



## 野外で出たごみは 持ち帰ろう

何げなく捨てたごみを野生動物が飲み込んで、けがをさせたり死んでしまったりすることがあります。ごみは決して野外に放置せずに、持ち帰るようにしましょう。

さらに

### ごみを減らす工夫をしてみよう

簡易包装や詰め替え用の物を購入すること、不用品を捨てずに売ったり譲ったりすることなどを心がけるのも、自然環境を守る取り組みです。

私たちは、道外から持ち込まれた外来生物のアズマヒキガエルがこれ以上増えないように、見回り調査や捕獲などの活動を増えています。アズマヒキガエルが増えようと、元々すんでいた生き物の生活に影響を与えてしまう恐れがあります。また、アズマヒキガエルを餌にしている外来生物のアライグマの増加にもつながり、生態系のバランスが崩れたり、人間が育てる農作物への被害が増えたりする可能性があります。

このままだといつの日か生物多様性が失われ、私たち人間の生活も脅かされてしまうかもしれないということを考えてみてほしいなと思います。今はお店に当たり前のようにならぬでいる食材も、自分の子や孫の世代には食べられなくなってしまうかもしれません。生物多様性によって、私たちの暮らしが豊かになっているというのを思いながら、一人一人にできることを始めてみるのが大切なのではないでしょうか。

## 外来生物の影響から 札幌の自然を守りたい

両生類・爬虫類  
研究家の方に  
聞きました

両爬虫の生態系を  
かんがえる・  
札幌市南区チーム  
徳田さん



## 生き物や自然との 触れ合いを増やしてみよう

まずは生き物や自然に興味を持ってみるのが大切。近所の公園を歩いて季節の変化を意識したり、生き物の姿を探したりすると、身の回りに多くの生き物があることを改めて実感できます。

さらに

### 調べてみよう

見つけた生き物が私たちの暮らしにどう関係しているのか調べてみると、生き物の大切さへの理解が深まります。



## 水などの資源を 大切にしよう

生き物の生活に欠かせない水は、自然の恵みがもたらす、限りあるものです。無駄遣いしないように、水の出っ放しなどに気を付けて生活してみましょう。



## ペットは最後まで 責任を持って飼おう

ペットの中には、元々市内に生息していない生き物もいます。野外に放すと、自然環境を壊してしまう恐れもあるので、ペットは必ず最後まで面倒を見ましょう。



一人一人に  
できることを  
考えてみよう

生物多様性を守るために、私たちができることは何でしょうか。ここでは、いくつかの例を紹介します。



## 食材は買い過ぎない ようにしましょう

食材は使い切れる量だけ買うようにして、料理の作り過ぎや食べ残しに気を付けましょう。生き物の命を無駄にしないことが、自然を守ることに繋がります。



さらに

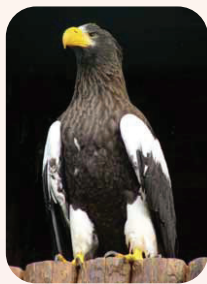
### 地元の物を食べよう

地域で取れた食材をその地域内で食べる地産地消を心がけることで、食材を運ぶ乗り物に使われる燃料が減り、二酸化炭素の排出を抑えられて、環境への負荷を減らすことにつながります。

## 円山動物園

二ホンザリガニやオオワシといった絶滅の危険がある動物の展示や保全活動を行っています。さまざまな動物の生態だけでなく、動物を取り巻く環境問題なども学べます。

開園時間 9時30分～16時30分(11～2月は16時まで)  
休園日 第2・4水曜(祝日の場合は翌平日、8月のみ第1・4水曜)、12/29～31ほか  
所在地 中央区宮ケ丘3  
入園料 800円。高校生は400円、中学生以下、市内在住の70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料(証明書が必要)。年間パスポートは2,000円  
アクセス 円山バスターミナルからジェイ・アール北海道バス[くらまる号]乗車、「円山動物園正門」下車ほか  
詳細 ☎621-1426



## 水道記念館

海の水が蒸発して雲になり、雨水として川に流れ、浄水場を通過して水道水として家庭に届くまでの道のりを知ることができます。水源の一つである豊平川に生息する生き物などについて学べる企画も定期的に行っています。

開館時間 9時30分～16時30分  
休館日 月曜(祝・休日の場合は翌平日)、冬期間(本年度は11/15迄まで閉館)  
所在地 中央区伏見4  
入館料 無料  
アクセス 市電「ロープウェイ入口」停留場下車徒歩15分ほか  
詳細 ☎561-8928



### 「生物多様性さっぽろビジョン」が新しくなりました

生物多様性を守るための2050年までの目標や、目標の達成に向けて行政や事業者、市民の皆さんなどで協力して取り組んでいくことなどをまとめています。



配布場所 ホームページ、市役所12階環境共生担当課など

生物多様性をみんなで守るんだっコー!



札幌市の生物多様性PRキャラクター コッコー先生



ホームページ  
QRコード

一人一人の小さな行動が、生物多様性を守るための大きな力になります。札幌にすむ生き物や自然がこれからも豊かであり続けられるように、自分にできることを見つけて取り組んでみませんか。

### 札幌の生き物を探して報告しよう! さっぽろ生き物さがし2024

市内の森林や草地、水辺などで生き物を見つけて報告していただく調査を毎年行っています。調査結果は、札幌の自然環境の変化の把握などに活用しています。



参加者が撮影した写真

#### 〈報告までの流れ〉

- ① 5/7(水)からホームページや区役所などで配布する申込書か、郵便、ファクス、Eメールで団体名、代表者の氏名・住所・連絡先、参加人数、さっぽろ生き物ミニ図鑑の希望数を記入し、5/10(金)から随時送付
- ② 報告用の書類などが代表者に送られてくる
- ③ 9/30(月)までに生き物を探し、5/18(土)～10/7(月)(必着)に報告

調査対象 鳥のカラ類、チョウ、マルハナバチ、トンボ、クワガタ、木の葉

申込先・詳細 同事務局(〒004-0051 厚別区厚別中央1の7)、☎892-5306、☎892-5318、[sapporo-ikimono@cho.co.jp](mailto:sapporo-ikimono@cho.co.jp)

ホームページ



## 豊平川さけ科学館

サケやサクラマスなどのサケの仲間を中心に、ザリガニやカエルなど、札幌にすむ水辺の生き物を調査し、飼育展示しています。札幌の在来・外来生物についても展示で詳しく学べます。



開館時間 9時15分～16時45分  
休館日 月曜(祝・休日の場合は翌平日)、12/29～1/3  
所在地 南区真駒内公園2  
入館料 無料  
アクセス 地下鉄南北線真駒内駅から徒歩15分ほか  
詳細 ☎582-7555

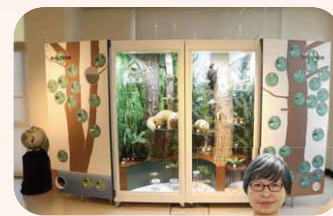
#### 有賀望 学芸員

豊平川が汚れ、遡上しなくなったサケを戻す活動から始まったこの施設。今は、自然産卵で生まれるサケを増やす活動もしています。まずは気軽に越えただき、札幌の水辺の生き物に興味を持って、札幌の生き物をどう守るべきか、一緒に考えてみてもらえるとうれしいです。



## 博物館活動センター

サッポロカイギュウの化石をはじめ、札幌で見られる植物や昆虫の標本、絶滅の危険がある植物の紹介パネルなどを展示。生き物たちが生息する札幌の大地がどのようにつくられてきたのかも学べます。



開館時間 10～17時  
休館日 日・月曜、祝・休日、12/29～1/3  
所在地 豊平区平岸5の15  
入館料 無料  
アクセス 地下鉄南北線豊川駅から徒歩10分ほか  
詳細 ☎374-5002

#### 山崎 真実 学芸員

札幌市のシンボルの花「スズラン」は、今や市内の数カ所にしか生育していないことを知っていましたか? まずは知っている生き物から調べてみると、生態やなぜ危険な状況にあるかを知ることができて、私たちはどうすべきか考えるきっかけになります。身近な生き物のことを調べに、ぜひセンターに来てみてください。



## 北方自然教育園

札幌にすむ水辺の生き物などを観察できるほか、学習館では北海道に生育する花や世界各地の昆虫などの標本も多数展示。札幌の在来・外来生物を学べるクイズもあります。

開館時間 学習館は9～17時ほか  
休園日 月曜(祝・休日の場合は翌平日)、12/29～1/3ほか  
所在地 南区白川1814  
入園料 学習館は100円。中学生以下無料  
アクセス 地下鉄南北線真駒内駅から徒歩約20分ほか  
詳細 ☎596-3567



札幌に生息する生き物や、自然環境を学べる多くの施設があります。ここでは、その一部を紹介!

生物多様性を学びに行こう